

No.186

令和6年8月28日発行

北海道  
天塩町議会



② 第2回定例会

価格高騰に対する  
支援事業 ほか

③ 一般質問

町政を4名が問う

⑨ 委員会レポート

議会だより  
てしお



# 補正予算ピックアップ

- 定額減税・低所得者への支援事業
- 野球教室・特別講演事業を開催

## 第2回 定例会

6月18日

芸術文化鑑賞経費ほか  
計6850万円増額

### 補正予算

#### ●一般会計

歳入歳出について、総額を52億750万円とする補正予算案を可決しました。

#### 歳出（主なもの）

定額減税調整給付金事業	2,388万円
低所得者給付金事業	922万円
消防事務組合負担金	406万円
少年少女野球教室・特別講演事業	80万円



▲昨年の芸術文化鑑賞事業

#### 質疑要旨

##### 山本

老人福祉費に送迎バス運行料が増額補正されているがその理由は。

##### 福祉課長

敬老事業と教育委員会で主催している芸術文化鑑賞事業を合同開催という形で実施し、その中の送迎バス運行料となっております。

##### 山本

今年の芸術文化鑑賞の内容と高齢者と一般町民の鑑賞の分け方は。

##### 教育次長

10月24日に落語家の林家木久扇さんの独演会を考えております。

敬老会の方々にについては前の方に席を用意し鑑賞いただく予定です。

##### 石山

消防事務組合負担金406万円増額の内容は。

##### 住民課長

防火水槽が道路地下に埋設されており、地盤沈下により隆起している3箇所を改修をするものです。

##### 山本

野球教室・特別講演事業の内容と講師は。また少年少女となっているが、小学生限定のものなのか。

##### 教育次長

日程はまだ決まっていませんが、小学校での野球教室と考えております。講師については、元日本ハムファイターズの杉谷拳士さんを予定しています。小学生のみならず、中学生との合同開催なども考えていきたいと思っております。

##### 石山

J A するもいふさと共創事業80万円の内容は。

##### 農林水産課長

るもい農協が主体となり、留萌地域をPRする取り組みを行うための事業負担金となっております。この負担金は、各市町村における特産物の購入にあてる予定です。



▲前回のスポーツ体験イベント

YouTube





## 一般質問

# 老朽化した福祉会館どうする

### 充実化の考えは

教育委員会が移転後、大ホールと図書室が主な目的で使用されており、文化サークルの発表会や展示会、各種団体の研修・講習に町内外から多くの方が来館している。

図書室においては、SNSが主流になりつつも、「本の良さ」が認知され、充実が進んでいると聞く。

社会活動・文化・教育・災害避難所として社会福祉会館は本町の「顔」であると考え、耐震化、バリアフリー化、図書室の充実化の考えは。

### 町長

耐震化・バリアフリー化、建て替えについて、現時点で大規模改修の計画はありません。

築55年を経過し、老朽化・経年劣化、施設の不具合や機能低下がありますが、現状の施設に対し、使用に耐えうるよう必要な保全・修繕を行い、長く使用できるように適切な維持管理に努めていく方針です。

図書室の充実には、ハード面の整備



▲老朽化する福祉会館の外観

と読書の習慣化を促進するソフト面の整備が重要と考えています。幼児期から小学生の子どもが、自然と本に親しむ機会を増やすことが必要です。

現在、読書週間における体験型イベントやポイントカード事業、小学校移動図書事業「もばりい」雄信内移動図書展示などに取り組んでいます。

今後、より一層、子どもを対象とした利用開放事業など、子どもが集まることのできる施設として環境づくり・体制づくりから、図書室の利用促進を図っていきたくと考えています。

### いつまで使うのか

災害避難所として耐震化、バリアフリー化されておらず、車椅子の方の利用など、住民の安全と平等を守ることができるのか。

「使えるうち」とはいつまでのことか。いつまで使うか分からない建物に際限のない支出を続けることが、本町の発展や町民が望むことなのか。

建て替え、大規模改修の計画はないとの答弁だが、財政が厳しいのならば、おさら、施設統合も含め基金を創設するなど、計画的に進める必要があると考えるが町長の考えは。

### 町長

ご指摘のとおりで、公共施設として利用される方の不便さと、福祉会館という名前を使っているながら、福祉対応がなっていないと思つています。2階に上がる際も階段しかない状況も十分理解をしています。

使えるうちはいつまでかとは10年とか、20年ではないと思つています。壊れたら直すの繰り返しは財政を圧迫するのではないかと理解していますが、まだ何をどうするかは決めていません。大規模改修についても規模に

関しては、予算提案させていただく時に、皆さんとご協議をさせていただきますので、ご理解いただきたいと思います。

施設統合について、今あるものを統一する、利用をなくすることは、もう少し様子を見る必要があると思えます。そのためには利用者の皆様とコンセンサスを図っていくことが重要だと思つており、国の補助金や基金など今後見据えながら検討します。

桑田 孝彦 議員





# 行政手続きのオンライン状況は



現在の状況と  
今後の取組は

オンライン化について、町立病院にカードリーダーが設置され、マイナ保険証の利用促進の取り組みがされているが、進捗状況と今後の取り組みは。

現行の保険証が12月で発行されない報道があるが、現在の申請率、交付率は。

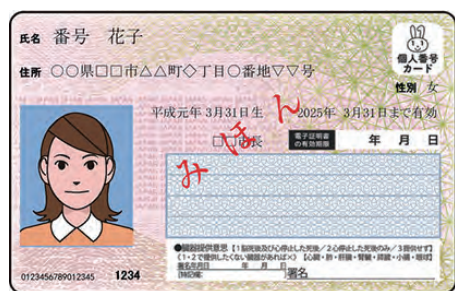
国は「デジタル・ガバメント実行計画」の推進と、マイナ保険証一体化を令和7年度までに移行を目指すこととされているが、本町の考えは。

用していただくよう取り組みます。マイナンバーカードの交付状況は、

5月末現在で延べ2490件の申請で、うち2258件の交付が完了し、申請率88.5%、交付率80.2%です。

ガバメントクラウド移行については、留萌地域電算共同推進協議会で導入・運営の試算を行っており、導入費用は約1億円、ランニングコストは年間5千万円超であり、現在の5倍の費用が発生する試算となっています。移行に係る業務負担の増加も見込まれ、現在人的支援や適切な情報提供、財政支援について、国へ要望活動を行っています。

町立病院でのマイナ保険証利用について、令和3年4月より運用を開始し、運用開始直後は、院内へのポスター掲示による周知のみでしたが、本年4月から毎週月曜日と金曜日、6月からはそれに加え、サテライト診療日に、担当職員を配置し、個別に利用方法の説明を行っています。5月の実績で83名、利用率約10%です。今後、利用方法の説明を行い、限度額情報の共有や医療費も安くなることから、多くの方々に利



▲保険証として利用できるマイナンバーカード

町民への周知強化と  
財政支援の取り組み状況は

マイナンバーカード、マイナ保険証の利用促進のため、病院のみではなく広く町民への周知が必要。

財政支援にかかる要望活動へ思い切った施策を打ち出す町長の考えは。

町長

マイナンバーカードに対して、セキュリティの面で情報漏えいを恐れている方が多く、現在9割近い申請率ですが、これ以上進むのはなかなか難しいと考えています。ただ病院における利用は今後、いやが応にも進みます。信

用されるようセキュリティの部分は国に訴えていきたいと思えます。留萌地域総合開発期成会、管内首長に情報共有をし、道、国の方に訴えていかなければならないと思っています。財政支援について、国はまだ何も言っていないので、行政コストがかかるようでは何のためにやるのか分からなくなるというところも訴えていきたいと思っています。

役場職員の人員不足解消と  
町民にとって便利なサービスを



山本 春光 議員

行政のデジタル化が深刻な人員不足解消の対策として意味があるものと考えている。またランニングコストの問題もあるが、利用される方々がわかりやすく、安心して利用できる環境づくりに向かつて取り組みが重要と考えるが町長の考えは。

町長

行政のデジタル化について、利便性が向上することは間違いないと思う一方で、やはりセキュリティの問題があり、そこは国の方に責任を持って対応していただければと思っています。

普及率、利用率向上のため町独自で何か行えないかを今後デジタル庁に確認をしながら、ランニングコストの部分も含めて要請を行っていききたいと思っています。







# 一般質問

## 放置されている空き家どうする



空き家の今後の対応は

さらなる取組の強化を

返礼品の状況と今後は

## ふるさと納税返礼品の充実を

空き家、空き店舗の放置状態や一部  
廃屋となっている現状がある。  
今後も人口減少や高齢化による住宅  
の放棄が予想されるが、

①所有者への対応はどのようにしてい  
るのか。  
②空き地や雑草が生い茂った廃屋の環  
境保全対策はどのように考えているの  
か。  
③新たな環境保全に対する取り組みは。

①4〜9丁目まで23件の空き家、空き  
店舗がある。所有者と熱意を持って補  
助金の説明などをしていく必要がある  
と考えるが、今後の取り組みは。  
②河川公園からの夕日の景色は、素晴  
らしいと感じているが周辺に廃屋があ  
り、景観が損なわれているように感じ  
る。壁を作り、子どもたちに絵を描いて  
もらうような取り組みなど対応が必要  
と考えるが、町長の考えは。

返礼品の数が少ないように感じて  
おり、新たな地域特産品開発を早急に  
行うべきだと考える  
①現在の状況と今後の展望は。  
②夏場の穏やかで過ごしやすい気候  
を活用し、農園とセットにした二地域  
居住権を返礼品にできないか。



草刈 幸男 議員

新たな取り組みが必要

町長

町長

町長

①周囲に悪影響を及ぼすことが危惧さ  
れるなどの場合には適切に管理してい  
ただくよう直接、話をしていきます。

②深刻な状況に陥る前に財産の処分  
を検討いただくよう、空き家解体撤  
去費補助制度を創設し、問題の解消を  
促しています。

③保安や衛生、景観上の観点から適  
切な状態が保全されることが必要で  
あり、周辺に悪影響を及ぼさないよ  
う努めていかなければならないと考  
えています。

①補助金制度の周知徹底を担当課と  
協議し、熱意を持って取り組んでい  
くことが必要だと思っています。

②特に河川公園に関しては、高大連携  
の関係で筑波や千葉の方でも、夕陽や  
景観が非常に綺麗だと仰っていただ  
いております。今後どういった方針で  
進めていくのかを含め、協議したいと  
思います。

①返礼品は、現在約140品目となっ  
ています。「郷土料理を返礼品に」と  
いったご相談を受けますが、加工品と  
して製造するには、食品衛生に係る基  
準など、課題もあります。主体性を尊  
重しつつ可能な限り支援したいと思  
います。また、新たな事業者の掘り起  
こしのため説明会を開催し、返礼品の  
充実に努めたいと思います。

②「居住権」にかかる諸条件が整った  
後に、総務省から提供して差し、支え  
ないと思われれば可能と考えます。

比較的小さい施設として、移  
住促進住宅が考えられ、長期滞  
在・移住体験型の返礼品を提供する可  
能性を検討したいと思えます。

①個人が開発から生産まで進めるの  
には限界があり、第3セクター的組織を  
立ち上げ、専門職を置くなどの取り組  
みをしなければ、町長の目標金額には  
届かない。町長の考えは。  
②二地域居住を今後、町として独自の  
考え方を持って進めることが必要と考  
えるが、町長の思いは。

町長

①施設の利活用、第3セクター化も含  
め、町の支援が必要だと認識をしてい  
ます。人材も募集していますが応募が  
ない状況です。今後、人や施設を含め、検  
討したいと思えます。

②居住体験していただく施設として、  
移住促進住宅を活用することや他の  
建物も補助金を活用し検討してい  
きたいと思えます。

# 👓 全道議員研修会及び行政視察研修 報告

## 1. 研修日程

令和6年7月1日(月)～7月3日(水)

## 2. 参加者

横山 敦(議長)、渡辺 修勝(副議長)、草刈 幸男、山本 春光  
菊地 敏、後藤 忍、石山 直継、長山 志津子、桑田 孝彦

## 3. 研修概要

### 留萌市行政視察「ふるさと納税返礼品に対する取り組みについて」

ふるさと納税事業の実績や取り組み内容について説明を受け、ポータルサイトを活用し、寄附額や件数を順調に増加させており、地域資源の活用や返礼品の選定基準にも工夫が凝らされていました。特に、地元企業との連携強化を目指した事業展開が成果を上げており、地域経済への貢献が見込まれていることを把握できました。

ふるさと納税を通じた地方自治体の財政支援と地域振興の重要性を改めて確認することができ、今後も留萌市との交流を通じて、さらなる協力と知識の共有が進められるよう連携を図っていきたいと思います。



### 北海道議会の視察及び表敬訪問

浅野貴博北海道議会議員に御同行いただき、北海道議会内傍聴ロビー(スカイギャラリー)、委員会室、議場を視察し、その後、富原亮北海道議会議長を表敬訪問し、懇談の時間をいただきました。



### 令和6年度北海道町村議会議員研修会

令和6年議員研修会が開催され、全道から143町村1,720人が参加しました。

渡部孝樹全道議長会長からの挨拶の後、気象予報士 森朗氏の「札幌が東京より暑くなる!?～加速する気象変動」、元衆議院議員大島理森氏の「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所管」をそれぞれ聴講しました。







## 町道の維持・補修及び管理方法について調査

6月19日

### 調査結果

- ①町道2丁目通線(未舗装部分)に関する現況確認
- ②東1条通線(こども園正面部分から町立病院側面における歩道及び車道部分の不陸状態)および町道緑豊苗畑線(未舗装部分)の現況確認
- ③町道新栄通線(天塩小学校前から8丁目周辺における指定通学路の歩道部の不陸状況)の現況確認
- ④生活道路(8丁目と9丁目境界部分)の現況確認

### 調査意見

#### ①町道2丁目通線の未舗装部分



#### ②東1条通線、町道緑豊苗畑線



#### ③町道新栄通線



#### ④生活道路(8丁目と9丁目境界部分)



#### ⑤その他(6丁目バス停留所の腐食)



#### その他

- ・6丁目バス停留所の腐食について
- ・新栄通7丁目の照明盤の管理について
- ・役場庁舎横未使用看板について
- ・役場正面駐車場の整備について
- ・天塩バイパスの冠水対策
- ・国道232号更岸P帯付近水溜り対策について意見が出されました。

合同委員会内部においても様々な意見が出される中、町は出された意見を踏まえ、町道の適切な維持管理に努めていただくよう指摘しました。町として今後どのように方針を打ち出し、施行していくのか注視をし、町民の皆さまに報告をしていきたいと考えています。



# 委員会調査レポート

## 総務文教・産業厚生合同所管事務調査

### 雄信内地区公共施設等の状況と今後について調査

5月7日

#### 調査内容

雄信内地区は、人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化が進行する中で、基幹集落としての機能を維持しつつ活性化させるための施策として、町では地域集落間コミュニティ・防災・行政の複合的機能を備えた地域の拠点となる複合型公共施設の整備を検討しています。それらを踏まえ、対象地区の関係施設である雄信内生活改善センター、雄信内老人憩いの家、啓徳小学校体育館及び複合型公共施設建設候補地を視察調査しました。

#### 調査意見

○避難施設として考えるのであれば、雄信内生活改善センターや雄信内老人憩いの家を改修することで、対応可能ではないかと指摘しました。

また、啓徳小学校体育館が避難所となっているため、吊り天井の落下対策を早急に対応すべきと指摘しました。

●北海道農業共済組合留萌北部家畜診療所に一時的に避難させていただくことができないか共済組合と協議し、避難場所として利用させていただくことも検討するよう提案しました。



○まずは雄信内地区の基本構想を策定し、その後に複合施設の必要性について地域住民と協議することが必要だと考えます。

●啓徳小学校閉校後の施設利用を含めた計画を早急に検討するよう指摘しました。

○デジタルの力で地方の特性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ることを目的とした事業（デジタル田園都市国家構想）を活用したコンビニエンスストアの誘致も検討すべきと考えます。

合同委員会は、雄信内複合施設の新規整備に関しては時期早々であると判断し、既存施設の改修等に対応すべきと指摘しました。

地域住民と将来を見据えた協議を十分重ねた上で、雄信内地区における生活・産業・交通など総合的なまちづくり計画の早期樹立を優先し、その上で複合施設の必要性について再度地域住民の意向を確認する必要があると考えています。



## 今回の表紙 こども園「七夕会」

七夕会が8月7日に行われました。

浴衣や甚平に身を包み、織姫、彦星のお話を聞きました。七夕飾りを作り、思い思いに短冊に願い事を書き、飾り付けをして、最後には園児みんなで盆踊りを元気いっぱいに踊りました♪



## 議会を傍聴しませんか？



第3回定例会は  
9月10日～12日を  
予定しています。

天塩町議会 | 検索

YouTube



議会当日のライブ  
配信及び録画配信  
しています。



議会の情報をお届けします。

### 【相談コーナー】

町民の皆様からの相談を受け入れております。  
お気軽に議会事務局までお問い合わせ下さい。

取材の都合により  
『まちのこえ』は  
お休みします。



【発行】天塩町議会 【編集】議会広報広聴委員会 ☎098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目 ☎01632-2-1001 (代表)  
【編集】議会広報広聴委員会 [委員長] 後藤 忍 [副委員長] 山本春光 [委員] 長山志津子 桑田孝彦

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONT by MORSAWAを使用しています。